



なかま

藤井吉彦行政書士事務所

藤井 吉彦

K 地区 2020 年入会

分からないことや困ったことを気軽に相談してもらって存在であり続けたい。

撮影・構成・取材・文章/ 原田メカホン 原田祐一郎



困っている人を助けたい

西深津にある事務所をお邪魔すると、一人では到底広いスペースにいかにも土業らしく落ち着いた雰囲気。出迎えてくれたのは外ハネの髪の毛がトレードマークの藤井吉彦さんがいた。同友会は2020年12月入会、独立開業したと同時のタイミングだそう。「困っている人を助けたい」と語る藤井さんの職業は行政書士。聞いたことはあるが、実際に何をしているのか分からないと伝えると、相続や後見人、入管や帰化の申請業務、自動車登録業務、法人設立のお手伝いや補助金申請、建設業許可申請などの代行を行っていると優しく教えてくれた。藤井さんは、土業って堅いつて思われているんですよと冗談っぽく笑う。ご主人が亡くなって銀行にお金を下ろしに行ったら後見人を指定して欲しいと言われ途方に

暮れた方や、フリーランスの業務委託契約をしたんだけどわからない方、外国人を雇って、自分で手続きしてみたけどどうもわからない方や私が死んだら愛犬はどうなるのかかわからないと不安に思う方などの話をしてくださった。具体的な例を聞くと、なるほど確かに私たちのすぐ身近な存在であることを認識した。大学を卒業して司法書士事務所の補助者をしながら司法書士の勉強をするも20数回(ノ)





MINI クロスオーバー 2015 年式

車をこよなく愛する藤井さんの愛車。半年前に中古で購入。購入後12000キロ走り、まもなく10万キロに到達しそうだが走りは絶好調。公私共のパートナーとして大切に乗り続けている。職業柄、名義変更や希望ナンバー、封印は自分で行った。



落ちたと恥ずかしそうに語る藤井さん。地域社会で困っている方の手助けが出来るのは行政書士としても出来ると考えて開き直っているもののやはり当初の目標を買きたいと勉強再開中だ。

多岐に渡る行政書士業務の中で相続、後見業務には特に力を入れたいと語る。何から始めたら良いのか？どこに相談したら良いのか？など困っておられる方が沢山いらっしゃるなかで、安心して相談できる場所を提供したい。そういう場があることを認知してもらいたい。相続や後見業務だけでなく分からないことや困ったことがあれば、気軽に相談に来ていただける存在になりたいと照れくさそうに笑う。私に相談に来られて個人対応できないようなら提携している専門家を紹介できる制度を

作る。そんな困った人を放っておかず横の連携で「橋渡し」もできる事務所を目指している。

同友会に入会して

「雇われから経営者になった自分が経営者の自覚を持ったきっかけが同友会だったんです。」と語る藤井さん。悩みが話せる仲間ができた、役員を任せてもらうなど、同友会から刺激を貰ううちに、地域社会に貢献したい、会社を大きくしたいなどの想いからも最近、一緒に働く職員の採用活動も始めた。まだまだ分からないことだらけだ。物腰柔らかな雰囲気の中で「行政書士の枠を飛び越えて地域社会に貢献する」大きな目標を持ち続ける熱い男の姿をそこに見た。



行政書士 藤井吉彦

1974 年生まれ 福山市出身
 (一社)コスモス成年後見サポートセンター
 広島会員・(一社)つなぐテラス専務理事

英数学館中学高等学校を経て広島修道大学卒業。大学卒業後、法務事務職として 20 年以上の経験を積む。2020 年 10 月行政書士として独立開業。これまで約 200 件の行政書士業務を担当。趣味はキャンプ、剣道 3 段。エンジンや排気音で車種を当てることができる特技を持つ。相続・後見の無料相談会は月 2 回(第 2・4 土曜日午前中)開催中